

2002年5月31日

各 位

会社名	株式会社北川鉄工所
代表者	取締役社長 北川 祐治
コード番号	6317
問合せ先	取締役 経営管理本部長 安藤 攻 (TEL 0847-45-4560)

前期大幅欠損に伴う経営再建施策の実施について

株式会社北川鉄工所（広島県府中市）は、昨年11月に長期事業構想「Decade Plan 2011」を策定し事業構造の転換に着手いたしました。国内景気の長期低迷による需要停滞、国内外価格競争の激化など、当社を取り巻く経営環境が予想以上に厳しく、残念ながら2002年3月期決算では大幅な欠損となりました。当社としては一刻も早くこの事態を打開し、「Decade Plan 2011」に示す事業構造へ速やかに転換するために、この度、経営再建施策を策定し、実施移行しております。本施策では、企業体質のスリム化により経営基盤を改善し、あわせて事業構造の転換を促すことを骨子としています。

つきましては、本施策に示す業績目標の達成に向けて、役職員一同、総力をあげて取り組んでまいりますので、関係者各位には今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1.業績目標

2003年3月期の業績目標を以下とします。

連結：	売上高 300 億円	経常利益 7 億円
単独：	売上高 284 億 5,000 万円	経常利益 7 億円

2.経営基盤の強化

(1)人件費の削減

役員報酬及び従業員給与、賞与のカット、業務効率化による時間外労働の抑制により総人件費の削減を図ります。本施策による削減効果8億円を見込んでいます。

(2)社外流出費用の削減

材料費、外注加工費、経費などの社外流出する費用の削減を図ります。2001年度社外流出費用に対して2年間で20%削減を目標とします。このために各事業単位に購買・生産・技術部門共同のプロジェクトチームを編成し、調達コスト低減と内製化比率拡大、及び部品共通化を重点施策として社外流出費用削減の活動強化を図ります。

Press Release プレスリリース

3.事業構造の転換

(1)金属素形材事業（主力製品：鋳物部品）

不採算となっているフラン自硬性鋳型による鋳造プロセスから撤退し、価格競争力のある鋳造プロセスへ特化します。併せて、2003年2月に株式取得予定のSIAM NISSAN CASTING Co.Ltd.（タイ）を新生産拠点として戦略的に展開します。

(2)工作機器事業（主力製品：旋盤用チャック）

日・米・英の3拠点での生産体制につきまして、海外拠点の生産縮小、国内拠点への生産集約を実施します。これにより国内拠点の稼働率を向上させ、価格競争力の回復を図ります。また、継続的な新商品の投入により事業拡大を図ります。

(3)建設機械事業（主力製品：コンクリートプラント）

国内3ヶ所にある生産拠点を集約化し、現状の受注量に適正な生産規模へとスリム化を図ります。市場では改造や補修による製品寿命延伸の要求が高まっており、この要求に対応するため、よりサービスを重視した事業構造へ早期に転換を図り、お客様重視の視点から新たな価値を創造していきます。

(4)建築事業（主力製品：プレハブハウス、自走式立体駐車場）

稼働率が低下している専用工場を閉鎖し、外部パートナーへ生産委託するファブレスの業態へ転換します。既に一部生産機能を残して生産部門を大幅に縮小し、人員の配置転換を完了しました。

以 上